

2026年度J D C西部総局昇降級規定及びポイント調整

◎ 昇級

- B級 → A級 (B級B : 3組、L : 1組) 各6大会
 ボールルーム : 30点 (24点獲得で特典考慮)
 ラテン : 24点 (18点獲得で特典考慮)
- C級 → B級 (C級B : 2組、L : 1組) 各6大会
 ボールルーム : 12点 (8点獲得で特典考慮)
 ラテン : 18点 (12点獲得で特典考慮)
- D級 → C級 (D級B : 1組、L : 3組) 各5大会
 ボールルーム : 3点 (2点獲得で特典考慮)
 ラテン : 12点 (8点獲得で特典考慮)

《注意》 1位 : 10点、2位 : 8点、3位 : 6点、4位 : 4点、5位 : 2点、6位 : 1点、7位以下の入賞 : 0.5点 5組以下出場の場合は最下位を6位とみなし順次点数を繰り上げる。オープン戦はA級、ライジング戦はB級、C級、D級を対象とする。選手権はA～Dまで全級対象。アジアオープン・JDC全日本に対して出場ポイント(1点)並びに出場回数(1回)の特典を与える(1大会のみ)。ポイント及び回数の加算は、複数部門出場(クローズ、ライジング含む)しても各大会1とする。

西部選手権は各級ごとの順位に応じてポイントを付与する。決勝に残った場合は、自己級ポイント又は決勝のポイントの高い方のみを付与する。

他総局競技会成績は特典考慮対象者のみ参考資料とされる。

不成立1大会につき、昇級ポイントは減算される。減算ポイントは状況に応じてその都度決定される。競技会回数が増えた場合昇級ポイントは加算される。加算ポイントは状況に応じてその都度決定される。

出場回数が規定に満たない場合は昇級不可とする。ただし年度途中入会選手は別とする。

5組以下の大会が複数回行われたセクションは、昇降級判定会議で優勝回数などを参考資料とし措置を検討する。また、各クラス選手数が少ないため状況に応じて措置を検討する。

B級からA級への昇級に関してはオープン戦・A級戦での成績も検討材料とする。

〈特典考慮について〉

選手数が極端に減ってきているため、ポイントにおける昇降級の判断が難しくなってきました。上記規定の得点は一つの目安であり、年度末の昇降級委員会で考慮対象を審議し、最終判断をする場合があります。

◎ 降級

A級 → B級 (A級B：5組、L：1組) 各6大会

ボールルーム：3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手

ラテン：3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手

B級 → C級

ボールルーム：3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手

ラテン：3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手

C級 → D級

ボールルーム：3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手

ラテン：3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手

《注 意》 年度途中入会選手には降級は適用しない。

ボールルーム・ラテンのどちらか一方しか出場できない大会では、出場不可のセクションを出場回に加算する。海外研修（短期間）、海外留学（長期間）、出産、疾病、怪我、事故などは届の提出により審議対象とする（期間を明記した届出書を11月末日までにWJPCを通じて昇降級管理委員長宛てに提出する）。

《jpとの交流戦について》

西部総局が主管する競技会と同等の競技会と位置づけ、昇降級の対象とする。

決勝進出による得点は加算される。オープン戦はA級、ライジングスター戦はB級、C級、D級を対象とする。

*上記記載組数は2026年1月時点におけるWJPC提出の資料に基づく。